

～あした、転機になあれ！～

# 琉球哲樂さびら。

# 「店長」に、エールを込めて。

店長が抱える課題は  
共通する部分が多い

この連載も、22回目になりました。  
それなのに私は、相変わらずパチン  
コ業界についてあまり詳しくありません。  
そんな私が、この連載をお受けしてきた理由は、ひとつ。「店長の立場・気持ち」は、わかるから。

私の仕事は、スタッフがイキイキ  
元気に働く職場づくりのサポート。

数字の面ではなく、コミュニケーション  
ショーン・考え方の面から取り組む担当  
です。医療・介護・小売業・飲食店・  
コールセンター・銀行：10年の中でも  
たくさんの現場にうかがってきました。  
たな。新人研修から役員研修まで、対  
象となる方もさまざまですが、なか  
でも昨年、一番多く向き合ってきた  
のが「店長」。どんなお店でも「店長」  
が抱える課題や気持ちには、共通する  
部分が多いと感じます。

「この雑誌を読んでいる店長へ、  
エールを！」この言葉が、執筆を  
お受けする一番のきっかけとなりま  
した。職種は違つても、働く人の気  
持ちはそう変わらないというのが、  
10年の活動を通じての印象です。

店長が元気なら  
スタッフも元気になる

「哲樂さびらって、どういう意味

ですか？」

出張先での名刺交換の時に、  
キヤツチコピーを見た方々からよく  
質問されます。沖縄で「さびら」は  
「Let's」というような意味。沖縄  
発で「哲樂しましよう！」と呼びかけ、広めていきたいという願いを込  
めて、名刺に入れました。

哲学科で東洋哲学を学んだ後、  
コーチングに出会い資格を取得し、  
企業現場を中心に講演・研修などを  
行つきましたが、現場のさまざま  
な声と向き合う中で「現代の職場が  
抱えている多くの課題は『哲學』す  
るという姿勢が解決のカギとなるの  
では？」と考えるようになりました。

経営者の中には「哲學」に憧れや  
関心を持っている方も多い一方で、  
一般的には「哲學」という言葉や学  
問に対し、アレルギーを持つ方もい  
るようです。難解で浮世離れ：とい  
うイメージを変え、どうにか「ジ  
ンズのように、日常に気軽に活用し  
てほしい」と思い、考えたのが「哲  
樂」というスタイルでした。

コミュニケーションについて、私が  
がコーチングの講座をやっていた時  
よりも、店長さんたちとイスを丸く  
並べて「自分のお店に必要なコミュニケーショント、何だ？」とワイ  
ワイ哲樂するスタイルにした方が、  
さまざまな変化が出てきて、驚きま  
す。「みんな、最初の時と顔が違  
います」

ますね！」と、担当者や社内の見学者の方にも、驚かれます。

店長が元気だと、お店のスタッフ  
も元気になる。店長の背中が暗いと、  
お店のスタッフも何となく暗くなる  
：店長の影響は大きいそうです。ス  
タッフの方々は、思っている以上に  
店長のことをよく見ていることが  
わかつきました。「あちこちから、  
見られている」、これもまた店長の  
大変さのひとつのようです。

正解を求めて、視点と発想を広げ  
：今年も一緒に、哲樂さびら！

## 店長を孤独にさせない 仕組みづくりが大切

てているのは「店長を哲樂する」こと。  
店長の元気に欠かせないものは何？  
店長の面白さって？店長の辛さは  
何だろう？店長に必要な力は？店  
長に必要なサポートは？：という  
風に、さまざまな視点から、店長と  
一緒に「店長」を哲樂すると、思  
がけない風穴があくことがあります。

そして、店長は「お店に一人」と  
いうことも、共通。店長の大変さを  
わかってくれる人は、お店にはいません。だからこそ「店長同士で気持  
ちやアイデアを共有する場」が、講  
師の話を聞くよりも重要だと感じ  
います。「自分だけじゃなかつたん  
だ！」と実感するだけで、本当に大  
きな元気が生まれることを知りまし  
た。こうして笑顔が生まれる場面を  
見るたびに「自分だけ」という孤独  
の感覚が、いかに人の元気度を下げ  
てしまっているかを感じます。

店長が「お店に一人である」と「孤独である」のは別。お店で一  
人の立場の人を孤独にしない仕組  
み・工夫は、とても大切です。  
私が、店長の皆さんと一緒にやつ

店長はお店に一人。  
でも店長は  
「一人ぼっち」じゃありません。